

警察署協議会会議録

筑紫野警察署協議会

開催年月日時	令和8年7月10日 午前10時30分 から 令和8年7月10日 午前11時45分 まで	
開催場所	筑紫野警察署3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務第一課長、 総務第二課長、会計課長、刑事第一課長、 刑事第二課長、生活安全課長、地域課長、 交通課長、警備課長、事務局
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 先日、昔から祈りの山といわれる宝満山に登ってきた。 三笠山、竈門山、宝満山と3つの名称で呼ばれ親しまれているこの山は、カエルが登る山と言われており、4月に山中のカエルが下山し産卵を行い、5月から7月にかけて子ガエルがなぜか登山する神秘的な山である。 ○ その宝満山に守られている太宰府筑紫野地区は、山頂から見下ろすと複数の道路、鉄道が交差する交通の要所であることがよくわかる。 大陸から近いことから、文明的にも人が行き交う場所であることは、今も昔も変わらない。 ○ 先人が守りつないだこの土地を住みよい街にするため、協議委員の皆さんに集まっていただいた。 本日もどうぞよろしくお願いする。 【署長挨拶】 本日は公私ともに大変お忙しい中、警察署協議会に御出席いただき、また平素から警察署の活動に対し多大なる御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 本日の協議会が、より安全・安心なまちづくりに向けた実りある意見交換の場となるようお願い申し上げます。		

議 事 概 要

【上半期情勢報告（署長）】

○ 刑法犯認知件数について

令和8年6月末における刑法犯の認知件数は489件（前年同期比－48件）で、全体の約7割を占める窃盗犯の減少が全体の減少に繋がっている。

自転車盗と万引きだけで刑法犯全体の約45%を占めており、引き続き身近な犯罪の抑止と検挙に注力する。

○ 匿名・流動型犯罪グループ、「トクリュウ」・特殊詐欺について

他県で発生した強盗殺人事件が大きく報道され、大変不安に感じておられることと推察する。

当署では、入手した情報から「トクリュウ」による犯行の可能性が高いと判断した場合、重点警戒や保護対策等の必要な措置を取っている。

また、依然として特殊詐欺発生件数も高水準で推移しているため、被害に十分気をつけていただくとともに、もし身の回りで不審な人物や車両を見かけるなど不安に感じるようなことがあれば、躊躇することなく110番通報していただきたい。

○ 飲酒運転・交通事故抑止対策について

今年は平成18年に発生した海の中道大橋飲酒事故から20年の節目の年である。自転車を含め飲酒運転により検挙される事案が後を絶たない現状にあり、引き続き抑止に向けた対策を強力に推進する。

○ 術科大会の結果報告について

5月に開催された福岡警察剣道大会において当署は第2部優勝を果たした。

また6月の柔道大会においては、優勝候補の強豪相手に惜敗したが、代表戦まで粘りを見せた。11月には逮捕術大会が開催されるため、ご声援をお願いしたい。

【交通課報告等（交通課長）】

○ 交通事故発生状況

○ 交通対策について

○ 交通教育機器の紹介（実機体験）

【生活安全課報告（生活安全課長）】

○ 少年の非行実態と対策について

○ 福岡県警察防犯アプリ『みまもっち』リニューアルについて

議 事 概 要

【質疑応答】

- 委員から、「外国人による犯罪の統計はあるか。」旨の質疑があり、刑事第一課長から「統計はあるが、当署管内においての外国人による犯罪の割合は多くはない。」旨の説明があった。
- 委員から、「事故の多い針摺交差点において、主要道と側道の合流地点が危険と感じる。対策として、直進を見やすくできないか。」との質疑があり、交通課長から「路面標示の対策は行っているが、抜本的な改善に至っていない。引き続き道路管理者と交通環境改善に取り組む。」との回答があった。
- 委員から、「自転車について、4月の青切符導入後マナーが良くなったように思うが、取締りの状況はどうか。」との質疑があり、交通課長から「青切符対象の反則行為に対し、当署での検挙はない。基本的には指導警告を行い、従わない場合に青切符処理をすることとしている。しかし、飲酒運転についてはこれまで通り検挙している。」との回答があった。
- 委員から「自転車盗が多いとの報告があった。発生場所はどの辺が多いのか、また対策はどのようにしているのか。」との質疑があり、刑事第一課長から「商業施設や駅において無施錠の自転車が被害に遭うことが多い。対策は、生活安全課と共に中・高校への被害防止の呼びかけ、商業施設への防犯カメラ設置等の管理者対策及び街頭・店舗における防犯広報活動等を行っている。」との回答があった。

【閉会】